

こども通信

梅雨の時期はじめつとして嫌ですね。暑い日もあります。

幸い昨年のような渇水騒ぎにはなっていないですね。台風の被害も起きずに済んでいます。これからの梅雨の終わりがどうなるか、心配ですが。

今月下旬、梅雨明けと同時に暑い夏がやってきます。今年のはスーパーエルニーニョのために、例年以上に暑いとか。
どうぞご無事に夏をお過ごしください。



アメリカとイスラエルによる先制攻撃から約3か月間、イラン本土やレバノンを含む各前線で戦闘が展開されました。数千人の戦死者を出していますが、大部分はイランとレバノンです（この中に数百人の女性や子どもが含まれています）。

トランプの勝手気まぐれで始めた戦争。当初はイランの核開発を阻止するのが目的とされていました。でも、成果がはつきりしません。一つ分かったことは、ホルムズ海峡の封鎖が世界的な大問題になること。ホルムズ海峡は公海なのです。イランはこの封鎖について実質的な鍵を握ってしまいました。

アメリカとイランの戦争が終結しました。と言っても、まだ停戦に向けての覚書に署名した段階で、その後戦闘行為は続いています。

アメリカとイスラエルによる先制攻撃から約3か月間、イラン本土やレバノンを含む各前線で戦闘が展開されました。数千人の戦死者を出していますが、大部分はイランとレバノンです（この中に数百人の女性や子どもが含まれています）。

オンライン診療を行っています。
希望の方は予約画面からどうぞ。

塚田こども医院
 小児科・アレルギー科
 漢方内科

 上越市栄町 2-2-25
 TEL 025-544-7777(代)
 025-544-7779(保育室)
 FAX 025-544-8456

 ホームページ
www.kodomo-iin.com

感染症情報

インフルエンザが少し発生がありました。流行時期ではなく、おそらく散發的な発生だと思います。

新型コロナウイルス感染症は保育園などで小規模の流行があります。これから流行が拡大するおそれもありますので、十分注意してください。一般に子どもは軽くすみますが、大人の方がかかると重い症状がでがちです。

感染性胃腸炎の発生がありました。嘔吐と下痢があり、乳幼児では脱水や低血糖にならないように注意が必要です。

溶連菌感染症はやや発生が多めでした。強い咽頭痛と発熱が特徴です。抗菌薬による治療が必要です。

ヒトメタニューモウイルス感染症がいくつかの保育園で流行しています。小さな乳児がかかると喘息のような発作を起こし、重症になることがあります。

RSウイルス感染症は少数の発生でした。小さな乳児を守るために、妊婦に予防接種を行っています。今春から無料になり、多くの方に受けていただいています。その効果が出ているのかもしれませんが。

麻疹（はしか）の発生はありません。しかし全国的には麻疹患者は出ています。大変に伝染力が強いので、十分に注意が必要です。麻疹は予防接種が重要です。1歳と、小学校入学前の1年間の2回接種を行っています。対象になったら早めに受けるようにしてください。

日本ではナフサ不足からいろんな石油製品の供給が不安定になり、価格も上昇しています。当院でも薬局で使っている水薬瓶が納入遅れになっています。今建設中のサテライト・クリニックでは、資材の供給は問題がないのですが、値上げの通告があるようです。

日本ではナフサ不足からいろんな石油製品の供給が不安定になり、価格も上昇しています。当院でも薬局で使っている水薬瓶が納入遅れになっています。今建設中のサテライト・クリニックでは、資材の供給は問題がないのですが、値上げの通告があるようです。

仮に今戦争が終結しても、すぐにホルムズ海峡が無事に通過できる訳ではありません。戦争前の状況に戻

るには、相当の月日がかかることでしょう。「力による平和」というシナリオが崩れました。その代償は大きなものがあります。一体何のために戦争をしたのでしょうか。

日本政府は戦争を仕掛けたアメリカに対して、言つべきことを言っています。正々堂々として欲しいものです。

分院の場所は？

分院を開設する日まで2か月を切りました。ここで、なぜこの場所になったかを見ておきたいと思えます。

上越市内には主に小児科を標榜している診療所は4つあります（他に入院できる病院は2つありますが、ここでは省いてあります）。その内で直江津にあるのが当院です（地図中の赤い星印）。

残りの3つは高田地区ですが（赤い丸印）、いずれも直江津よりです。いわゆる新興住宅地にあります。

ここで最近閉院した診療所を地図に落とし込んでみます（黒い丸印）。3箇所とも、高田の中心部か妙高市よりのところですが、これがそっくり無くなってしまいました。

事情はそれぞれ違いますが、急な閉院で困惑された方も多かったことでしょう。

私的なことで恐縮ですが、私の家は仲町6丁目です。高田幼稚園に行き（当時は大手町小学校の隣に園

舎がありました）、小学校は大町小学校、中学は城北中学でした。高田高校を卒業するまでの18年間を、高田の中心部で過ごしました。

その郷里に、小児科医院が無くなつた！ 大きな出来事でした。

直江津に開業したのはさほど理由があつた訳ではありません。何となく・・・。当時、高田に小児科医院もあり、いずれ高田に新しい医院もできるはずと思ひ、それを避ける形で直江津に決めました。冬に降る雪も、高田は交通障害になるくらいだとい

うこともありました。

開業して36年が経ちますが、どうも見通しが違ったようです。

3軒の小児科医院が次々に廃業することは、予想していませんでした。予定外の出来事です。

著しい少子化の影響があり、小児科を開業する人が少なかったということもあります。

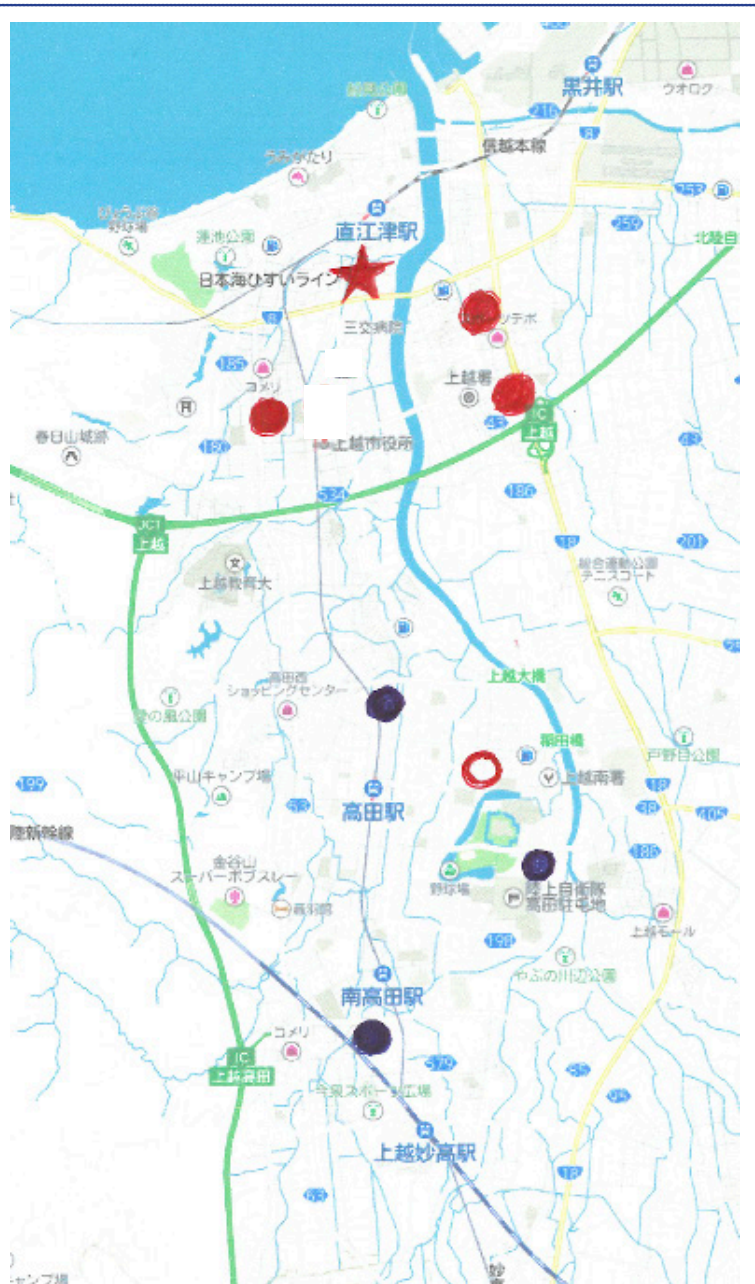
私の最後の10年余、生まれ育つたところに恩返しをしたいと思ひました。現在複数医師の体制ができていますので、それも幸いしました。分

院を作れる可能性があります。

昨年から土地を探し、高田地区の中心部（附属小学校の正門前）に300坪の土地を借りることができました（地図中の赤い丸印）。これも幸いでした。

本院の出先という意味で、サテライト・クリニックと名付けました。現在、建物が建ちつつあります。あと2か月で完成です。

ワクワクするような事業をしていきたいと思ひます。どうぞご期待ください。



- ★：当院
- ：サテライト・クリニック
- ：現在開業の小児科医院
- ：廃業した小児科医院